

CS こひつじ科礼拝式次第

2020年8月9日 午前9時30分

2020年度年間テーマ：「神は今も語っておられる。御言葉の恵みに生きよう。」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「神はご自分にかたどって人を創造された。」

創世記1章27節

1、みんなでたたえましょう（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ マタイによる福音書 5章7～9節

「^{あわれ} ^{ぶか} ^{ひとびと} ^{さいわ} ^{ひと} ^{あわれ} ^う ^{こころ} ^{きよ} ^{ひとびと} ^{さいわ} ^{ひと}
隣み深い人々は、幸いである。その人たちは憐みを受ける。心の清い人々は幸いである、その人
^{かみ} ^み ^{へいわ} ^{じつげん} ^{ひとびと} ^{さいわ} ^{ひと} ^{かみ} ^こ ^よ
たちは神を見る。平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」

おはなし 「戦争をやめて、平和を造ろう」

おおひな
大日南隆夫先生

皆さんおはようございます。

今から75年～79年前に日本の国は大きな戦争をし、8月15日に戦争が終わりました。この戦争で多くの外国の人が死に、日本人もたくさん死にました。東京や日本中の多くの町が焼け野原になりました。

今日は、8月15日を前にして「戦争と平和」のことについて考えましょう。

・皆さんは戦争が昔起きたこととしてではなく、自分のお父さんや大切な人が戦争に行くことになったことを想像してしんけんに考えてみましょう。

・どうして戦争が起きて、苦しく、悲しい目にあったのでしょうか？

戦争の種（原因）は、今の私たちの心の中にもあります。「自分だけ幸福ならまわりの人はどうでもいい」という考えです。仲のいい兄弟・姉妹でも、おやつの量やオモチャの取り合いでケンカをしたことがあるでしょう。

「自分の国だけ幸福であればいい、隣の国はどうでもいい」という考えが戦争の原因の一つです。

・新約聖書の中で、イエスさまは「^{あわれ} ^{ぶか} ^{ひとびと} ^{さいわ} ^{ひと} ^{あわれ} ^う ^{こころ}
^{きよ} ^{ひとびと} ^{さいわ} ^{ひと} ^{かみ} ^み ^{へいわ} ^{じつげん} ^{ひとびと} ^{さいわ} ^{ひと} ^{かみ}
清い人々は幸いである、その人たちは神を見る。平和を実現する人々は幸いである、その人たちは神の
^こ ^よ
子と呼ばれる。」と教えてくださいました。

自分の幸福だけを考えて生きるのではなく、まわりのお友だちの中に困っている人がいないか、悲しんでいる人がいないかをよく見て必要な助けができる人になりたいと思います。

このイエス様の教えが広がり、隣の国の人たちのことを考える人が増えるとき平和な世界が実現します。

私たち家族、友だちの間にも、そして国々の間にも平和が実現するようお祈りしていきましょう。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話をいたしますようお願い致します。

(けんきん) 再開後にまとめておささげください

84、平和川のように (こどもさんびかをお用ください)